

# 森のじいや 見学



山にたくさん生えている木。木が元気に育つためには、人による手入れも大切です。どんな手入れをしているのでしょうか。さあ、マモロンと一緒に山のこと見学に出発です。

森には2つの種類があるんだ。

森には、自然のチカラが長い年月をかけてつくりあげた「自然林」と、人が木を植えて育てた「人工林」があります。

日本の面積のうちの、およそ3分の2が森です。これは世界でも、トップクラスの数字。1億人以上の人が住んでいて、工業

がさかんな国なのに、これだけ多くの森が残っているのはなぜでしょうか。それは、人びとが森を大切に育てながら、生活に利用してきたからなのです。 それでは、マモロンと一緒に、森を育て、木材を産み出すところ、山のじいやを少しだけ見に行きましょう。

これが木の苗なのね。わたしより背が低いわ。

本当だ。大きくなるまでどれくらいかかるんだらうっ。

取かくするまで、50年くらいかかるんだよ。

苗を植える場所をつくりまします。

人工の森をつくることは木の苗を植えることから始まります。まずは、苗が元気に育つていくように、植える場所をきれいにします。

植えた苗が取かくする大きくなるまでに、50年くらいかかります。小学6年生だった子が、おじいさんやおばあさんになったころに、やっと取かくされるのです。

そこらじゅう雑草だらけだ！

植えた苗はどこ？ げんきに育ってるかなあ？

大変だ！ このままじゃ苗が枯れてしまうよ。

夏のあいだのレスキュー隊

夏になると、日光をあびようと、木の苗や草がぐんぐん伸びています。苗のまわりの草刈りは、夏のあいだの大切なことのひとつで、苗が大きく育つまで、5年から10年くらいつづけます。しかも、暑い夏にヘルメットをかぶり、長そで、長ズボンの服を着ておこなう、たいへんなことなのです。

元気な山は木を伐るじいから。

木があるていど育つと間ぼつをします。元気な森にするために、これは大切なことなのです。木と木の間がせまいと、ひびひびした弱い木に育ちます。だから、ときどき弱い木などを伐つて、間引きしていくのです。すると、日光が地面にまで降りて、山の生き物や草花も元気になるます。伐らずに残した木も、枝や根っこをひるげながら、すくすくと育っていきます。

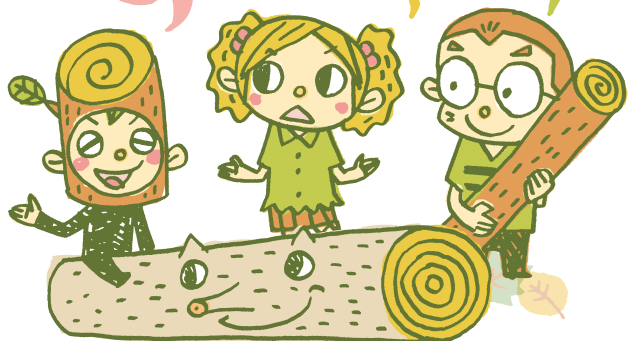
間引くために伐った木はどうするの？

すてしてしまうのはもったいないよね。

間ぼつした木もちゃんと使っているよ。

間ぼつ材はだいに使われています。

間ぼつで伐りだされた木を、間ぼつ材と言います。木が小さく、太さや長さが足りないときは、家の材料としては使えません。けれども、おもちゃを作ったり、キャンプで使う薪になったりいろいろな方法で利用されています。間ぼつ材を利用した商品を買って、山のしごとを応援するのになります。



### ●学習指導要領とのリンク

【理科】【全学年共通】生物、天気、川、土地などの指導に当たっては、野外に出掛け、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにする。

【社会】【第4学年】県の様子について、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめたりして、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現する。

【第5学年】わが国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で調べ、森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現する。

【生活】【第1・2学年】身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。